JR東労組(東日本旅客鉄道労働組合)

東日本旅客鉄道労働組合 第35回臨時大会

TRU

職場の声を尊重し、全組合員が納得と共感を持てる運動づくりで新たなJR東労組を創り上げよう!

◆運動方針◆(賛成140 反対90 棄権5)

- ていることから、第35回臨時大会において、形式的にも完全に消滅することを確認する
- については、12地本の統一闘争へと高めていくために、職場のたたかいを基礎に、団体交渉を

不当労働行為については、12地本の統一闘争へと高めていくために、職場のたたかいを基礎に団体交渉を精力的に行う。そのために各労働委員会への

- 組織と財政の検討を行うため、「組織財政検討委員会」を開催する

◆制裁審査委員会の設置◆ ◆大会宣言◆

※発言等2面へ続く

について

とって必要なことだと感じています。だったのかを主体的に受け止めることが今の私たちなす。不満や疑問がなぜ出るのか、私たちの議論がどないうように、他人の責任にしてはいけないと思い

(左から) 木之下代議員(横浜地 本)、尾形代議員(仙台地本)、清

水代議員 (大宮地本)

組合員の雇用と利益を守り、家族の幸福を実現するために、組合員と共に歩むJR東労組を創り上げよう!

っ、だからこそ、12地本、全組合員が担える目標・方て、12地本が一致できない事態となってしまいましい。 お現実と内容・形式がかけ離れていた結果と

を再構築していくことだと考えています。

くために

締結にしっかり向き合う事

業内労働組合として、当たり前の労働運動・労使関必要な闘いです。また、労使の紛争状態を解消し、

き、JR東労組への求心力を取り戻すことが、

で総括答弁とします。 があることなく、組合員に正直に、新しいJR東労組運 があることなく、組合員に正直に、新しいJR東労組運 がとも、スローガンにあるとおり、組合員の期待を裏

れから先、極めて厳しい現実に直面していますけ

あると判断します。

中央本部に課せられた課題であり、この大会は有組合員のための組合活動を展開していくことこそ執行権を持つ中央執行委員が全ての議事運営を司

そうするとこの先何の展望も描けなくなる、組合先は一切中央委員会も大会も開催できなくなりま

負託に応えることができないということなので

員で補充するとあります。定数31名に拘ればこれは大会で選出する、欠員が生じた場合は最近の中

なっていますが、規約第42条に、中央本部制裁申請もあり中央執行委員の定数I7名と

きる者が、構成員、だという考え方です。て成立する」とあります。執行権が行使で

ぞれの構成員の3分の2以上の出席によっ

この臨時大会の開催を確認しました。

規約第66条には「全ての機関会議はそれ

を説明して代議員の皆さんの拍手によって頭、司会の奥山副委員長からこの間の経緯

組合員のためのJR東労組運動を 切り拓いていこう!

規約の解釈についての見解

ければならないと思います。会社は組合に対して時間軸と言いますが、施策の必要性を労使が議論する時間を確保した上での実施期限を決めて堂々と向き合うべきです。議論をせずに期限だけを決めて施策を進めていくことは改善していかなければならないと思います。会社は組合に うときには、職場の現状や、組合員要求をいことです。その歪みはすべて職場に現れいことです。その歪みはすべて職場に現れ部が上から方針を押し付けることは良くな とやこれまでの経緯などを無視して中央本 会社施策について、地方が考えているこ的けて奮闘していきます。 会社との議論をおこなっていかな

たちは誤ったことを明確にし、組合員のみなさん 一闘争へと高めていくために各労働委員会への不 関係の紛争状態を解消し、正常な労使関係職場の仲間たちの利益を守るためにも労使

多くの脱退者とこれからの施策への

さつ 村田俊雄 す。JR東労組は、この30 「必要な効率化は認める」とした上で、団体交渉を積み上げ、要求を勝ち取ってきたのです。あらためて本み上げ、要求を勝ち取ってきたのです。あらためて本のよび、要求を勝ち取ってきたのです。あらためて本のよび、要求を勝ち取ってきたのです。あらためて本のは、要求を関したがです。

て、本部を代表してのご挨拶とさせていただきます。大会成功に向け、最後までのご協力をお願いしましが、心を一つにして、この難局を乗り切るために臨時が、心を一つにして、この難局を乗り切るために臨時が、心を一つにして、この難局を乗り切るために臨時が、心を一つにして、この様な、厳しい条件下での臨時大会となります